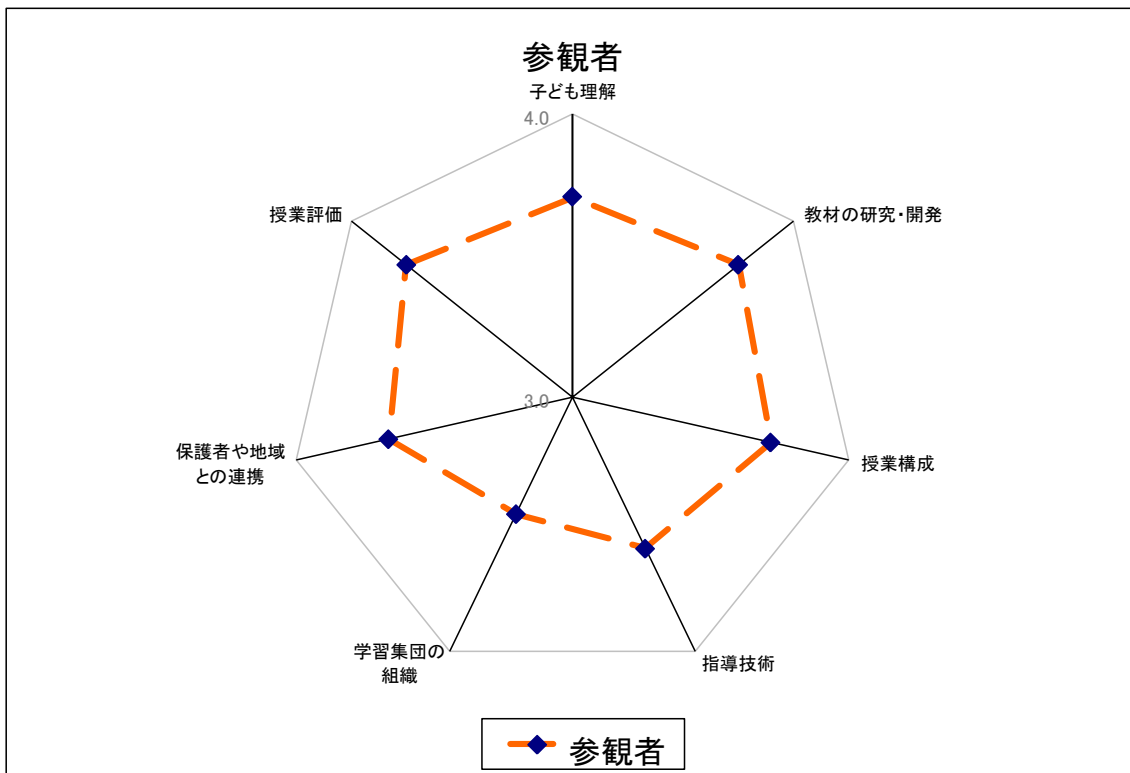


平成26年11月19日 中間発表

参加者

所 属	授業	分科会	講演
市内小学校（本校を除く）	3 5	3 5	3 3
市内中学校	6	6	0
市外小学校	7	7	7
市教委	6	6	6
西部教育事務所	6	6	6
県教委	3	1	3
計	6 3	6 1	5 5



授業力チェックシート

評価項目	子ども理解	教材の研究・開発	授業構成	指導技術	学習集団の組織	保護者や地域との連携	授業評価
平均	3. 6	3. 7	3. 7	3. 5	3. 4	3. 6	3. 6

- ・ 解答 9 名
- ・ 保護者や地域との連携は記入していない参観者がいた。

分科会協議内容のまとめ

《低学年》

◇授業者から

- ・児童も教師自身も緊張した。こんな中で、児童は持っている力を出して頑張った。
- ・ひらめきのいい児童の意図しない発言にとまどった。（偶数や奇数という言葉を使っての説明等）
- ・しんどい児童は、となりを見て自分で考えようとしなない。
- ・説明の仕方のワークシートを使って取り組んできたが、自分の考えを伝えることが難しい。言語活動能力をつけるためにはどうすればいいか助言してほしい。
- ・ペア学習をあえて適用問題の場でさせたが、どうだったか考えてほしい。

◇参加者から

【良かった点】

- ・児童が落ち着いて意欲的に取り組み、多様な考えができていた。
- ・児童なりに説明ができていた。
- ・ペア学習が静かにできていた。
- ・先生の声がけが優しく、落ち着いて、うまく授業を流していた。
- ・多様な考え方をしっかり把握できていた。
- ・準備物が良かった。
- ・自力解決に使うワークシートを何枚も用意していたので、多様な考えを書く意欲につながった。
- ・板書がきれいで見やすかった。
- ・教室の掲示がすばらしい。既習学習を思い出し本時の学習に生かすことができる。
- ・説明の仕方のワークシートが良かった。
- ・導入が楽しく、児童の興味を引きつけた。

【課題】

- ・書画カメラを活用したことは良かったが、児童がワークシートへ記入した線が見えにくかった。
- ・教師がうまく誘導し授業がきれいに流れたが、これでいいのか。
- ・児童の発言が弱い。説明するための時間の確保が必要。
- ・児童が十分解放されてなかった。自由に自分の考えを発表し、考え合わせたい。
- ・教師が発言者をピックアップしていたが、児童から同じ考え方か、違う考え方かを出させたかった。
- ・ペア学習は、必要と思われる場面で活用すればいいが、発表の前に取り入れると全体での説明がしやすくなるのではないか。
- ・発表の前のペア学習も見てみたかった。今日の使い方も参考にしたい。
- ・少人数学級は一人ひとりの発言の場が多いが、大規模校は難しい。自力解決→ペア学習の方法で発言力をつけることができるのではないか。
- ・ペア学習だけでなくグループ学習も取り入れ、リーダーを育てることも大事。

◇助言者から

- ・児童が真面目に取り組み、多様な考え方をを見つけようとフル回転していた。
- ・しっかり考える力がついている。日々の取り組みの成果が表れている。
- ・問題解決型の学習（課題をつかむ→自立解決→練り上げ→まとめ→評価問題）が45分間の中にしっかり入っていた。これまでの積み上げが生きている。
- ・今日の授業内容は、4年生の面積、5年生の体積を求める学習に結びつくのでしっかり理解させておきたい。

【課題】導入について

- ・導入は簡潔に行い、的確にめあてにつなげる。
- ・今日の授業では、先生がチョコレートを食べなくても良かった。児童に、食べた＝引くというイメージを印象づけてしまった。
- ・食べた後のチョコレートを見せ、「今日のはかけ算でできるかな。」「昨日の学習とちがうぞ。」「昨日は、きれいな四角だった。今日は、四角じゃないぞ。」「どうしたらかけ算でできるかな。」と児童に困り感を出させ、めあてにつなげたい。この部分がやや弱かった。

《中学年》

◇授業者から

- ・導入で時間をとらないことや練り合いをすることは日々の授業で気をつけている。
- ・普段の授業から余計な言葉を言ってみたりするので、その当たりを気をつけなければ行けない。
- ・言葉で説明することを繰り返しやっていきたい。

◇参加者から

- ・学力への意欲（言語活動力）をどう引き出すか、どう伸ばしていくかが大切だと思う。
- ・やらされている感がまだあった。自然な話し合いができるような仕組み方が大切。
- ・1/10の単位分数がしっかりと押さえておく必要がある。そのことを子どもたち自身の言葉で押さえることが必要なのに出てこなかった。分かってない児童もいたので、そういう意味では、ねらいが達成できてなかったのではないかな。

◇助言者から

- ・同分母の加法においては、根拠を説明する言語活動が大切。
- ・ICTなどを使って提示したりすることで意欲も出た。
- ・問題をすぐ与えるのではなく、具体物を提示してから、問題を作っていくのもいいのではないかな。
- ・解決への見通しを持たせることが良かった。
- ・単位分数1/10をしっかり押さえる。この①と②のこの意味を押さえることが大切。
- ・適応問題も工夫されていたのではないかな。考え方の評価も入っていたので良かった。

《高学年》

◇授業者から

(ぐんぐんコース)

- ・言語活動として、あらゆる場面で言うことをしている。
- ・生活に生かしたいと子どもから出たから良かった。

(じっくり)

- ・子どもたちに分かる発問など、練り合わせる発問をどうしたらよいか。
- ・決まった数7.3をどうすっきり落とすかで迷った。

◇参加者から

- ・決まった数=比例定数をすっきりさせる工夫が必要だと思った。応用物理学につながる。
- ・今日のまとめで「およそ」があったらいいかなあと思った。
- ・最後で実際に計測しても良かったのでは。根拠となる式もあったら良かった。
- ・子どもたちが発表するときに筋道だった言い方ができていた。
- ・誤差も必要だと思う。
- ・算数が生活の中で使えると言えたところが良かった。
- ・子どもたちがすごく集中していた。
- ・決まった数の所は、抽象化されているので、具体化に戻すためにも、単位をつけても良かったのでは。
- ・表を使いたいと言ったとき、じっくりのこたちこそ手持ちの表があればいいと思った。
- ・比例定数について1枚あたり7.3gとして、1あたり量をしっかり押えるのも大切だと思う。
- ・ペアでの話し合いが問題が解けた後でなかったのが良かった。

◇助言者から

- ・子どもたちが良く育っている。
- ・「普段の生活でも…」という声が聞けた。
- ・説明に役割があったので良かった。
- ・コース別は、表、適用問題を工夫していて、評価規準は変わらず手立てが変わっていて良かった。
- ・ペアで分かった後の確認ができていた。
- ・「およそ」は今回は必要だろう。量ってみると誤差が出るので。
- ・定数については今日の問題では2~3カ所しか見えないので、すっきりさせるのは難しいだろう。別の時にやることだと思う。
- ・枚数ではなく、他で量ろうとすることが比例の考え方だと思う。
- ・これが比例しているかどうかを確かめる場面があればいいが、今日は時間内にできないので、またやればいい。